

庵主 松田清幸のしあわせ相談

「高野山長幸寺」の庵主・松田清幸（せいこう）師が、
読者の悩みに心ほぐれるアドバイスをおこないます。

（長幸寺／野々市中学校前（野々市町三納）.076-248-4441）

<http://www.siawase-deai.com>



今回の相談／毎年、初詣に出掛けるのですが、行き先は適当です。仏壇へのお参りも、ただ手を合わせるだけだったのでは、と反省しています。お正月にはどんな気持ちで神社仏閣に接すればいいのでしょうか。また、仏像が持つ蓮の花や、供える菊の意味、バラはだめと聞きますがその理由も教えてください。よろしくお願いします。（金沢市・四一歳）

私の初詣は、まず仏様に献茶し、合掌、礼拝、読経と、心から新しい年の寿ぎ（ことほぎ）を捧げます。その後、郷（さと）の氏神様に参拝致しております。

日々のお仏壇へのお参りと清浄を表し、お供えの菊は邪気を払い、仏様にふくよかな香華を受け取っていただくという意味に解釈しております。バラなど、トゲのある花はあまり好ましくないと言われています。いろいろ

初詣の意味と、その心構え

りでは、仏様とご先祖様に心からの感謝をささげることが一番大切なことです（ご先祖様のいない人間は一人もいませんよ）。

な説があるとは思いますが、供養する人の気持ち何よりも重要です。

それから、ご質問の仏像が持つ蓮の花は、泥の中から咲く蓮の花の忍辱も丸い言葉が和みますよね。「言葉も慈悲です」。まああるい心で、毎日を楽ししく暮らしましょう！

松田清幸師への相談を募集しています

“平成のかけこみ寺”の松田清幸師が、みなさんからの相談に丁寧にアドバイスしますよ。相談内容、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、ハガキか封書でお送りください。〒920-8588（所番地不要）北國新聞社「えるず・のーと しあわせ相談」係まで。